

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026/02/24

事業所名：放課後等デイサービス 療育支援工房 川口元郷教室

対象人数（保護者）11人 回答者

	チェック項目	対象人数（保護者）11人 回答者	
		はい	どちらともいえない
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	4	1
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	
適切な支援の提供	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1
	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	6	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	
保護者への説明等	14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	6	1
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	
	17 子どもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	
	18 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	
	19 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	
	20 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	
	21 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	
非常時等の対応	22 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	
	23 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	
	24 子どもは安心感をもって通所していますか。	6	1
満足度	25 子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1
	26 事業所の支援に満足していますか。	6	

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的支援方法や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。